

# 実はこれにもプラスチック



# ご存知ですか？ 国や大阪府の取組み

## 国の取組み

2022年4月に、プラスチック資源循環促進法が施行され、プラスチック使用製品の使用の削減や、リサイクルの取組みが行われています。

〈使い捨てプラスチック製品の削減例〉

- ・スーパーやコンビニ、飲食店などのストローやスプーンなどの使用を抑制したり、木製などの製品に転換
- ・ホテルの歯ブラシやくしなどのアメニティを代替品に転換
- ・クリーニング店のハンガーの回収 など



## 大阪府の取組み

2019年1月に「おおさかプラスチックごみゼロ宣言」を行い、2021年3月に策定した「大阪府循環型社会推進計画」では、家庭から出る容器包装プラスチックごみ（2019年度で24万トン）を2025年度に14%削減する目標を掲げ取り組んでいます。

### Osakaほかさんマップ

プラスチックなどの使い捨て容器を“ほかさん（捨てない）”のために、マイ容器・マイボトルを利用できるお店を簡単に探せるウェブサイト「Osakaほかさんマップ」を公開しています。ぜひご活用ください。



### おおさかマイボトルパートナーズ

府民の日常的なマイボトルの携帯率は現在3割程度であり、8割をめざして、行政や企業などが連携し、イベント等でのマイボトルの利用啓発や給水スポットの普及などに取り組んでいます。



プラスチックの代替として注目されている  
**バイオプラスチックとは？**

バイオプラスチック

バイオマスプラスチック | 原料として植物などの再生可能な有機資源を使用するプラスチック

生分解性プラスチック | 微生物などの働きによって分解し、最終的には二酸化炭素と水にまで変化するプラスチック

バイオプラスチックを使えば大丈夫？

バイオマスプラスチックは食料等との競合、生分解性プラスチックは条件によって、分解性能が異なる、リサイクルの阻害要因になるなどの課題があるとされています。

※出典：バイオプラスチック導入ロードマップ（2021年1月 環境省、経済産業省、農林水産省、文部科学省）